

防衛省政策会議 議事要旨

日時：平成22年5月25日（火）午前8時00分～9時15分

場所：衆議院第1議員会館地下2階 民主党B会議室

防衛省出席者：榛葉防衛副大臣、長島防衛大臣政務官、楠田防衛大臣政務官

議題：①日豪外務・防衛閣僚協議（「2+2」）について

②韓国海軍艦艇沈没事案について

③その他

楠田政務官の司会により進行。

1. 議題①について、石川国際政策課長から説明。議題②について、青木調査課戦略情報分析室長より説明。議題③について鈴木防衛政策課長、榎本会計課長より説明。

2. 意見交換

【日豪外務・防衛閣僚協議（「2+2」）について】

○ 米豪間ではACSAが締結されているのか。

（石川国際政策課長）

米豪間では既にACSAが締結されている。

○ 物品・役務の提供区分について、豪側の国内法は、今回の協定に対応できる形になっているのか。

（石川国際政策課長）

豪側においては、日豪ACSAに掲げられている物品・役務は基本的に提供可能であるものと考えている。

○ 日豪ACSAの適用対象活動は無限定になっていないか。

（石川国際政策課長）

日豪ACSAの適用対象活動は明示されている。

【韓国海軍艦艇沈没事案について】

○ 鳩山総理のコメントの中に、米韓と緊密に連携・協力していく旨の発言があるが、具体的にどのような連携・協力を想定しているのか。

(青木戦略情報分析室長)

昨日、李大統領及び金国防部長官から今後の対応について声明が発表されたが、具体的な行動の内容についてはこれから議論されていくものであり、今後米韓とも緊密に連携し、検討していくことになると思う。

- 李大統領の談話の中に、「軍も過ちがあったと認めざるを得ない」という発言があるが、これはどのようなことを意味しているのか。

(榛葉副大臣)

「軍も過ちがあった」という発言については、その発言の後に、軍の綱紀粛正と軍改革の必要性について述べられていることから、当時の軍の態勢について、見直すべき点があったということを述べているものと理解している。

- 今回の調査結果について軍民合同調査団の中には異論はなかったのか。

(青木戦略情報分析室長)

本調査結果は調査団の全員が最終的に納得した上で発表されたものと承知している。

【その他】

- 行政事業レビューについて、公開プロセス以外のものも含めて全てレビュー結果は開示されるのか。

(榛葉副大臣)

行政事業レビューは防衛省の事業全件について実施され、7月を目途に実施結果を公表する予定である。

(以上)